6

パソコンの取り扱い

日常のパソコンのお手入れやパソコンを廃棄する
ときなどについて説明しています。

1 日常の取り扱いとお手入れ

> **注 意**
> ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
> ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。
> 製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
  汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
  温度5～35℃、湿度20～80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所
  非常に高温または低温になる場所
  急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
  強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
  ホコリの多い場所
  振動の激しい場所
  薬品の充満している場所
  薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。
  本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

電源コード

電源コードのプラグを長期間にわたってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にホコリを拭き取ってください。

キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。
飲み物など液体をこぼしたときは、電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取りはずしてからお買い求めの販売店、または保守サービスに連絡し、交換を依頼してください（有償）。

液晶ディスプレイ

画面のお手入れ

● 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

● 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

サイドライト用FL管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用FL管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

アキュポイントⅡ（ポインティング装置）

ポインタを動かすポインティング装置をアキュポイントⅡといいます。
アキュポイントⅡは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。
携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

●フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
●スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
●直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
●本やノートなど重いものを上に置かないでください。
●使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環　境	使用時	保管時
温　度	5～35℃	4～53℃

●ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
●ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
●保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
●食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
● 3.5 型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

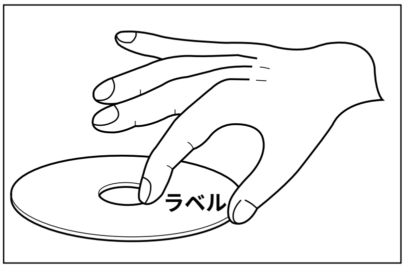
フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に 1 回を目安にフロッピーディスクドライブをクリーニングしてください。

CD／DVD

CD／DVDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD／DVDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD／DVDを読み込むことができなくなります。
- CD／DVDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD／DVDの上に重いものを置かないでください。
- CD／DVDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD／DVDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



- CD／DVDのデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD／DVDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。
  円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。
- CD／DVDのかたよった位置にシールなどを貼らないでください。CD／DVDが正常に回転しなくなり、CD／DVDの損傷などの原因になります。

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとはハードディスクやアプリケーションの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどにコピーしておくことです。
本製品は次のような場合、スタンバイ機能または休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長時間使っていなかったために、バッテリ（バッテリパック、時計用バッテリ）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリ交換のとき
- バッテリ駆動で使用しているときにバッテリパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスク、CD-R、CD-RWなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
  電源を切った後も、Disk LEDが点灯中は動かさないでください。
- かばんなどにパソコンを収納するときは、必ず電源が切れていることをご確認ください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
  やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。
  また、フロッピーディスクやCD／DVDがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
  故障の原因になります。
- ディスプレイを閉じてください。

2 アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへのご相談は、『東芝PCサポートのご案内』をご覧ください。
保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。
保守・修理に出す前に、ご自分で作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

・メール
・メールのアドレス帳
・インターネットの履歴
・インターネットのお気に入り

消耗品について

次の部品は消耗品です。

● バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。

● 時計用バッテリ（交換は有償です）

● アキュポイントキャップ
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品（本製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年です。

3 廃棄について

バッテリパックについて

不要になったバッテリパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

Li-ion

バッテリパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人 電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

企業でパソコンをご使用のお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。
使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

東芝パソコンリサイクルセンター
〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町20－1
株式会社テルム内
TEL　　：045-510-0255
受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日・当社指定の休日を除く）
FAX　　：045-506-7983（受付時間：24時間）

パソコン内のデータ消去について

パソコン内のデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどの使用により、消したはずのデータが再生されることがあります。
パソコンの廃棄の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合には専門業者に依頼もしくは市販のソフトウェアなどをお使いになることをおすすめいたします（有償）。
本件に関するお問い合わせは、東芝PCダイヤル（巻末参照）にご連絡ください。

お客様登録の削除について

お客様登録されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

【お問い合わせ先】

パソコンお客様ご登録係
TEL　　：043-278-5997
受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日・特別休日を除く）

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1 困ったときは

パソコン本体を使っていてうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解決法のヒントをご紹介します。

1 Q&A集を見る前に

設定の確認によく使う、［コントロールパネル］の開きかたを説明します。

Windows XPの場合

1. ［スタート］ボタンをクリックする
2. ［コントロールパネル］をクリックする
   ［コントロールパネル］が開きます。

Windows 2000／98の場合

方法1－［スタート］メニューから開く

1. ［スタート］ボタンをクリックする
2. ［設定］にポインタを合わせる
3. ［コントロールパネル］をクリックする
   ［コントロールパネル］が開きます。

方法2－［マイコンピュータ］から開く

1. デスクトップの［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックする
2. ［コントロールパネル］アイコンをダブルクリックする
   ［コントロールパネル］が開きます。

2 Q&A集

電源を入れるとき／切るとき…

表示・画面について

アプリケーションについて

電源を入れるとき／切るとき…

電源が入らない／システムが起動しない

パソコンの電源が入らない

電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。

一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)

バッテリの充電量が少ない

次の操作を行ってください。

・ 本製品用の AC アダプタを接続する
　他製品用の AC アダプタは使用できません。
・ 充電済みのバッテリパックを取り付ける
　☞ バッテリパックの取り付け ➪「3 章 4-3 バッテリパックを交換する」

一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)

電源の接触が悪い

次の操作を行ってください。

・ AC アダプタを抜き差しする
・ バッテリパックを抜き差しする

危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ～ 35℃です。
以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 休止状態による起動ができなくなった（ 98 ）

休止状態によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。
この場合、休止状態によって保存されたデータは失われます。

① 電源を切る
② BackSpace キーを押しながら、電源スイッチを押す
次のメッセージが表示されます。
「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE.」
③ 何かキーを押す

Q 「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる（ 98 ）

A 前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った

スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。
正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行ってください。

自動的にプログラムが実行される

Q Windows の起動と同時にプログラムが実行される

A [スタートアップ] にプログラムが登録されている

[スタートアップ] に登録されていると、Windows 起動と同時にプログラムが自動的に起動します。
次の手順で設定を変更してください。

XP

① [スタート] ボタンを右クリックする
② 表示されるメニューから [開く] をクリックする
[スタートメニュー] 画面が表示されます。
③ [プログラム] アイコンをダブルクリックする
④ [スタートアップ] アイコンをダブルクリックする
[スタートアップ] 画面が表示されます。
⑤ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[ファイルとフォルダのタスク] の [このファイルを削除する] をクリックする
[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。
⑥ [はい] ボタンをクリックする
⑦ [スタートアップ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする

2000

① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー...] をクリックする
② [詳細] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
⑤ [はい] ボタンをクリックする
⑥ [閉じる] ボタンをクリックする

98

① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー...] をクリックする
② [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
⑤ [閉じる] ボタンをクリックする

Windows のタスクスケジューラで設定されている

Windows のタスクスケジューラで [実行する] に設定されていると、設定したスケジュールに従ってタスクを実行します。次の手順で設定を変更してください。

① XP
[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タスク] をクリックする
2000 98
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タスク] をクリックする
② 設定されているタスクをダブルクリックする
プログラムが実行された時間などを参考に選択してください。
③ [タスク] タブで [実行する] のチェックをはずす
④ [OK] ボタンをクリックする

電源が切れる

パソコン使用中に電源が切れる

危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

警告音が鳴り、点滅していたBattery LEDが消灯した

バッテリの充電量が少なくなった

引き続き使用する場合は、次の操作を行ってください。

・ ACアダプタを接続する
・ 充電済みのバッテリパックを取り付ける

☞ バッテリパックの交換 ➪「3章 4-3 バッテリパックを交換する」

電源が切れない

電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ…」と音が鳴り続ける

次の操作を行ってください。

・ 電源スイッチを4秒以上押す
・ ACアダプタ→バッテリパックの順に取りはずし、バッテリパック→ACアダプタの順に取り付ける

表示・画面について

画面に何も表示されない

画面に何も表示されない
（Power LED が点灯していない、またはオレンジ点滅している場合）

電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている

電源スイッチを押してください。

画面に何も表示されない
（Power LED が点灯している場合）

表示自動停止機能が働いた

次の操作を行ってください。

・ [Shift] キーや [Ctrl] キーを押す
・ マウスやアキュポイントⅡを操作する

メモ
・CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがありますが、故障ではありません。

インスタントセキュリティ機能が働いた

インスタントセキュリティ機能については、「3 章 2- [Fn] キーを使った特殊機能キー」をご覧ください。解除するには、次の操作を行ってください。

・ パスワードを設定していない場合
  [Enter] キーまたは [F1] キーを押す
・ パスワードを設定している場合
  パスワードを入力し、[Enter] キーを押す
  ☞ パスワード ➪「4 章 4 パスワードセキュリティ」

メモ
・パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

表示装置が適切に設定されていない

[Fn]＋[F5] キーを押して表示装置を切り替えてください。
押すごとに次の順で表示が切り替わります。

→LCD→LCD／CRT→CRT*→LCD／TV**→TV*→

* CRT ディスプレイやテレビを接続していなくてもこの状態に切り替わります。この場合は、パソコン本体の液晶ディスプレイには何も表示されません。

**画面のプロパティで表示装置として「LCD ／ TV」を設定している場合のみ、この状態に切り替わります。

☞ 表示装置の切り替え
➪「3 章 9- CRT ディスプレイやテレビを接続した場合」

画面が見にくい

CRTディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

他の電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカーなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。

メモ
・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。

画面が暗い

画面の輝度が適切ではない

次の手順で画面の輝度（3段階）を変更してください。

① XP
［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック-［東芝省電力］をクリックする

2000 98
［コントロールパネル］を開き、［東芝省電力］をダブルクリックする

② ［電源設定］タブで利用したい省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリックする
③ ［省電力］タブで［モニタの輝度］を設定する
④ ［OK］ボタンをクリックする

サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

メモ
・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。

色が汚い

少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

XP

① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
② [画面解像度を変更する] をクリックする
③ [設定] タブの [画面の解像度] で解像度を変更する
④ [OK] ボタンをクリックする

2000 98

① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
② [設定] タブで 2000 [画面の色]、 98 [色] を [HighColor] や [TrueColor] に変更する
③ [OK] ボタンをクリックする

メモ
・解像度によっては [TrueColor] に設定できません。

アプリケーションについて

アプリケーションの使いかたについては、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

アプリケーションが使えない

アプリケーションが使えない

正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。
使用できるシステムについては、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ➪「3 章 8 増設メモリ」

A システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

Q アプリケーションが操作できなくなった

A アプリケーションを強制終了する

この場合、保存していないデータは消去されます。

XP

① Ctrl+Alt+Del キーを押す
[Windows タスクマネージャ]画面が表示されます。
② [アプリケーション]タブで[応答なし]と表示されているアプリケーションをクリックする
③ [タスクの終了]ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

2000

① Ctrl+Alt+Del キーを押す
[Windows のセキュリティ]画面が表示されます。
② [タスクマネージャ]ボタンをクリックする
[Windows タスクマネージャ]画面が表示されます。
③ [アプリケーション]タブで[応答なし]と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
④ [タスクの終了]ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。
⑤ [Windows タスクマネージャ]画面を閉じる

98

① Ctrl+Alt+Del キーを押す
[プログラムの強制終了]画面が表示されます。
② [応答なし]と表示されているアプリケーションをクリックする
③ [終了]ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

印刷について

印刷できない

Q 印刷ができない

A プリンタの電源が入っていない

パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直してください。

A 正しく接続されていない

接続ケーブルを正しく接続し直してください。

A 接続しているプリンタと違うプリンタを設定している

プリンタの設定を確認してください。

① XP
[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する] をクリックする

2000 98
[スタート] - [設定] - [プリンタ] をクリックする

② 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
③ 表示されたメニューの「通常使うプリンタに設定」をクリックし、チェックをつける

Q 最後まで正しく印刷できない

A ECP に対応していないプリンタを使用している

プリンタのモードを双方向に設定してください。

① XP
[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [東芝 HW セットアップ] をクリックする

2000 98
[コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする

② [プリンタ] タブで [プリンタポートモード] を [双方向] に設定する
③ [OK] ボタンをクリックする

プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。
Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバを更新できる場合があります。

上記のすべてを行っても印刷できない

Windows を終了し、パソコンを再起動する

プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行する

セルフテストができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

キーボード／マウス／アキュポイントⅡについて

思うように文字が入力できない

キーを押しても希望の文字が入力できない

キーボードの文字入力の状態が合っていない

キーボードの文字キーは、キーボードの入力の状態によって、入力される文字が異なります。次のキーを使ってキーボードを希望の状態にしてください。

XP 2000

・ Shift ＋ Caps Lock 英数 キー
・ Ctrl ＋ Shift ＋ カタカナひらがな キー
・ Fn ＋ F10 キー
・ Fn ＋ F11 キー

☞「3章 2 キーボード」

98

・ Shift ＋ Caps Lock 英数 キー
・ Ctrl ＋ Caps Lock 英数 キー
・ Alt ＋ カタカナひらがな キー
・ Fn ＋ F10 キー
・ Fn ＋ F11 キー

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

キーボードドライバが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

XP

① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
② [システム] をクリックする
③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
④ [キーボード] を [106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl +英数)] に設定する
⑤ [デバイスマネージャ] を閉じる

2000

① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
③ [キーボード] を [日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー)] に設定する
④ [閉じる] ボタンをクリックする
⑤ パソコンを再起動する

98

① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [デバイスマネージャ] タブで [キーボード] を [106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl +英数)] に設定する
③ [OK]、または [閉じる] ボタンをクリックする

どのキーを押しても、反応しない
設定は合っているが、希望の文字が入力できない

内部処理が正しく行われなかった

次の操作を行ってください。

・ パソコンを再起動する
☞「その他調子がおかしい - A. 強制終了し、再起動する」

マウス／アキュポイントⅡが使えない

マウスが使えない

マウスが認識されていない

次の操作を行ってください。

・ マウスを接続した状態で、電源を入れ直す
・ パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、もう 1 度パソコン本体の電源を入れる

A 新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でウィザードを実行してください。

① XP

［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリック -［関連項目］の［ハードウェアの追加］をクリックする

2000 98

［コントロールパネル］を開き、［ハードウェアの追加と削除］（ 2000 ）、［ハードウェアの追加］（ 98 ）をダブルクリックする

② ［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

Q アキュポイントⅡと PS/2 マウスが同時に使用できない

A ポインティング装置を同時に使用できるように設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

ただし、マウスによって同時使用できない場合もあります。

① XP

［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリック -［東芝 HW セットアップ］をクリックする

2000 98

［コントロールパネル］を開き、［東芝 HW セットアップ］をダブルクリックする

② ［ポインティング装置］タブで［ポインティング装置］を［内部 / 外部を同時使用］に設定する

③ ［OK］ボタンをクリックする

周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「3 章 本体の機能」もあわせてご覧ください。

フロッピーディスク、フロッピーディスクドライブについて

Q 「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された

A ルートディレクトリに作成できるファイル数を超えた

新しくフォルダを作って、そこにファイルを作成してください。

ルートディレクトリに作成できるファイル数には制限があります。

ファイルが開けない（読み込みエラーやディスクエラーが表示される）

フロッピーディスクに何らかの問題がある

フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。

XP 2000

① XP
[スタート] - [マイコンピュータ] をクリックする
2000
[マイコンピュータ] を開く
② [3.5 インチ FD] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
③ [ツール] タブで [エラーチェック] の [チェックする] ボタンをクリックする
④ [チェックディスク] 画面で [不良なセクタをスキャンし、回復する] をチェックする
⑤ [開始] ボタンをクリックする
フロッピーディスクのチェックを開始します。

98

① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [スキャンディスク] をクリックする
② [エラーチェックをするドライブ] 欄で「3.5 インチ FD（A：）」を選択する
③ [開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。

フロッピーディスクドライブが故障している

他のフロッピーディスクで試してみてください。

フォーマットに時間がかかる

未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットしている

Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。

FDD/CD-ROM LED が消えない

データを処理している

大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。LED が消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは電源を切り、再起動してください。
再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスに連絡してください。

フロッピーディスクからシステムが起動しない

フロッピーディスクドライブから起動するように設定されていない

次の操作を行ってください。

- F キーを押したまま、電源スイッチを押す
  一時的に、起動ドライブがフロッピーディスクドライブになります。
- フロッピーディスクドライブから起動するようにユーティリティで設定する
  ① XP
  ［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリック -［東芝 HW セットアップ］をクリックする
  2000 98
  ［コントロールパネル］を開き、［東芝 HW セットアップ］をダブルクリックする
  ②［OS の起動］タブで［OS の起動］を［FDD］が最初になるように設定する
  ③［OK］ボタンをクリックする

CD ／ DVD、ドライブについて *

＊内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

CD ／ DVD にアクセスできない

ディスクトレイがきちんとしまっていない

「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

☞ CD ／ DVD のセット ➪「3 章 6-2 CD ／ DVD のセットと取り出し」

CD ／ DVD がきちんとセットされていない

ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。

ディスクトレイ内に異物がある

異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。

CD ／ DVD が汚れている

汚れているようなら、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

ドライブが CD ／ DVD を認識していない

FDD/CD-ROM LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう 1 度アクセスしてください。

CD／DVDをセットしても自動的に起動しない

自動起動に対応していないCD／DVDを挿入している

自動起動に対応していないCD／DVDは自動起動できません。『各CD／DVDに付属の説明書』などで確認してください。
対応していないときは、次の手順で起動することができます。

① XP
［スタート］-［マイコンピュータ］をクリックする
2000 98
デスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリックする
② ドライブのアイコンをダブルクリックする

正しく動作するCD／DVDもあるが、動作しないCD／DVDもある

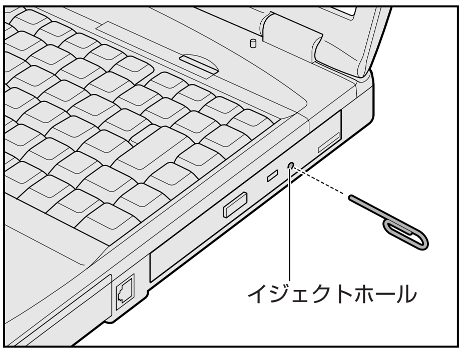
使用環境の設定が必要なCD／DVDを使用している

各CD／DVDによって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『各CD／DVDに付属の説明書』を読んで、それぞれのCD／DVDに合った環境を設定してください。CD-R、CD-RWは、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

CD／DVDが取り出せない

パソコン本体の電源が入っていない

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。
故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。



PCカードについて

PCカードの挿入が認識されない

PCカードを奥までしっかり差し込む

☞ PCカードの取り付け ➪「3章 7 PCカード」

PCカードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

PCカードのコントローラモードが正しく設定されていない

セットアッププログラムを起動し、[PC CARD]の[Controller Mode]の設定を変更してください。

☞ セットアッププログラム ➪「4章 3 セットアッププログラム」

MS-DOS上で使用しようとしている

本製品はWindows専用モデルです。MS-DOSモードでPCカードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません(一部のPCカードを除く)。

デバイスとして認識されるが使用できない

IRQが不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

XP 2000

① XP
[コントロールパネル]を開き、[パフォーマンスとメンテナンス]をクリック-[システム]をクリックする

2000
[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

② [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする
③ [デバイスマネージャ]で使用しないデバイスの ⊞ をクリックする
④ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効]をクリックする
確認のメッセージが表示されます。
⑤ [はい]ボタンをクリックする
⑥ [デバイスマネージャ]を閉じる
[システムのプロパティ]画面に戻ります。
⑦ [OK]ボタンをクリックする

98

① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
② [デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスの ⊞ をクリックする
③ 表示される項目から使用しないデバイスを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
④ [全般] タブで [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックする
⑤ [OK] ボタンをクリックする
[システムのプロパティ] 画面に戻ります。
⑥ [閉じる] ボタンをクリックする

LAN 機能が使えない

Q ネットワークに接続できない

A ネットワークの設定が正しくない

次の点をネットワーク管理者に確認してください。

- Windows のネットワーク設定を確認する
- 相手先のネットワーク機器（HUB）などの設定を確認する
- ケーブルの状態を確認する

USB 対応機器について

Q USB 対応機器が使えない

A USB 対応機器がシステムに対応していない

USB 対応機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。使用できるシステムについては『USB 対応機器に付属の説明書』をご覧ください。

A 正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体と USB 対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

A ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

① XP
[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [東芝 HW セットアップ] をクリックする

2000 98
[コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする

② [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

Windowsを再起動する

休止状態から復帰後、正常に動作しない

休止状態に対応していないUSB対応機器を接続している

USB対応機器をUSBコネクタからはずし、もう1度接続してください。

赤外線通信について

赤外線通信ができない

赤外線通信ができる環境になっていない

次のことを確認してください。

・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
・ 赤外線ポート間の障害物を取り除く
・ 赤外線ポートの汚れをおとす
・ 赤外線ポートの設定を正しく設定する

赤外線通信ソフトが使えない

「マイクロソフト赤外線通信ソフト」が正しく設定されていない（98）

次の手順で設定してください。

① [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
② [オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする

赤外線通信はできるが、データが正しく送られない

正しく通信できる環境になっていない

次のことを行ってみてください。

・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
・ 通信先との距離を近付ける
・ 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
・ 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す

音量について

スピーカから音が聞こえない

Q スピーカから音が聞こえない

A ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある

ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。

A パソコン本体にあるボリュームダイヤルで音量を調節する

Q システムビープ音が鳴らない

A システムスピーカが無効になっている

次の手順で設定を変更してください。

① XP
［コントロールパネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］をクリック -［東芝 HW セットアップ］をクリックする

2000 98
［コントロールパネル］を開き、［東芝 HW セットアップ］をダブルクリックする

② ［アラーム］タブで［システムビープ音を鳴らす］をチェックをする

③ ［OK］ボタンをクリックする

A 音量の設定が「ミュート」になっている

次の手順で設定を変更してください。

XP

① ［コントロールパネル］を開き、［サウンド、音声、およびオーディオデバイス］をクリックする

② ［サウンドとオーディオデバイス］をクリックする
［サウンドとオーディオデバイスのプロパティ］画面が表示されます。

③ ［音量］タブの［デバイスの音量］で［ミュート］にチェックがついている場合は、チェックをはずす

④ つまみをドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

2000 98

① タスクバーの［音量］アイコンをクリックする

② ［ミュート］にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす

③ つまみを上下にドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

サウンドドライバがインストールされていない（XP 2000）

サウンドドライバをインストールしてください。
詳しくは、アプリケーションCDをセットして表示される画面をご覧ください。

標準の優先するデバイスが変更されている（98）

次の手順で優先するデバイスを正しく設定してください。
①［コントロールパネル］を開き、［マルチメディア］をダブルクリックする
②［オーディオ］タブの［再生］で［優先するデバイス］を正しく設定する
③［OK］ボタンをクリックする

おかしな音が聞こえる

Q 甲高い音がする

外部マイクとスピーカとでハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。
次の操作を行ってください。
・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する
・使用しているソフトウェアの設定を変える
・Windows上から音量の設定を調整する

調子がおかしい！

テレビ・ラジオに障害が出る

Q テレビ、ラジオの調子がおかしい

何らかの原因がある

次の操作を行ってください。
・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
・テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
・パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
・受信機に屋外アンテナを使う
・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

休止状態にならない

休止状態にならない（98）

ドライブCが圧縮されている

圧縮を解凍してください。

休止状態に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けている

休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。

休止状態が有効になっていない

休止状態が無効の状態で［スタート］メニューの［休止状態］をクリックしても、「休止状態へ移行するには、［東芝省電力］で休止状態を許可して下さい。」というメッセージが表示され、休止状態にはなりません。
次の手順で「東芝省電力ユーティリティ」の設定を変更してください。

① ［コントロールパネル］を開き、［東芝省電力］をダブルクリックする
② ［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェック する（☑）
③ ［OK］ボタンをクリックする

休止状態用のファイルが壊れている

次の操作を行ってください。

① ［スタート］メニューから［Windowsの終了］-［MS-DOSモードで再起動する］を選択する
② HALLOC Space /C Enter と入力する
③ EXIT Enter と入力する

スタンバイ状態になってしまう

休止状態が有効になっていない

次の手順で「東芝省電力ユーティリティ」の設定を確認してください。

① XP
［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック-［東芝省電力］をクリックする
2000 98
［コントロールパネル］を開き、［東芝省電力］をダブルクリックする
② ［休止状態］タブで［休止状態をサポートする］をチェックする（☑）
③ ［適用］ボタンをクリックする
④ ［電源設定］タブで利用したい省電力モードを選択し、［詳細］ボタンをクリックする
⑤ ［動作］タブでそれぞれのメニューから［休止状態］を選択する
⑥ ［OK］ボタンをクリックする

スタートアップに休止状態の妨げになるアプリケーションソフトが登録されている

スタートアップからアプリケーションソフトの登録をはずし、Windowsを再起動してください。

パソコンの動作がおかしい

バッテリパックは充電したのに、すぐBattery LEDがオレンジ色に点滅する

バッテリパックの充電機能が低下している

別売りのバッテリパックと交換してください。

使用中に処理が遅くなる

CPUの温度が上がった

CPUは高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

使用中に操作できなくなった

パソコンの調子がおかしい

次の操作を行ってください。

- **電源スイッチを４秒以上押し続ける**
  電源スイッチを４秒以上押し続けると電源が強制切断されます。もう１度電源スイッチを押してください。この場合、保存していないデータは消失します。
- **電源をOFFにし、BackSpaceキーを押しながら電源スイッチを押す（98）**
  BackSpaceキーは［ハイバネーションエラー］が表示されるまで押し続けてください。
- **すべての電源を抜いて、再起動する**
  ① ACアダプタをはずしてから、バッテリをはずす
  電源がOFFになります。
  ② バッテリを取り付けてから、ACアダプタを取り付ける
  ③ もう１度電源スイッチを押す

設定した日付と時刻が合っていない（進む／遅れる）

時計用バッテリが充電されていない

パソコン本体にACアダプタを接続し、時計用バッテリを充電してください。

時計用バッテリの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。

充電したはずのバッテリパックを使用しても、パソコンのBattery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリがフル充電状態を示さない

長時間バッテリパックを使用していなかった

長時間バッテリパックを使用していなかった場合、新しいバッテリパックと交換して充電してください。
それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

しばらく充電をして様子をみる

しばらく充電を続けて、様子をみてください。

その他調子がおかしい

調子がおかしい

応答しないアプリケーションを強制終了する

☞「アプリケーションが使えない-Q アプリケーションが操作できなくなった」
アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、次の操作を行ってください。

強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次のとおりです。この場合、作業中の保存していないデータは消去されます。

XP

① Ctrl + Alt + Del キーを押す
　［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。
② メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
　アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、Alt + U キーを押してください。
③［コンピュータの電源を切る］をクリックする
　アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、U キーを押してください。
　プログラムを強制終了し、電源が切れます。
④ パソコンの電源を入れる

2000

① Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押す

［Windowsのセキュリティ］画面が表示されます。

② ［シャットダウン］ボタンをクリックする

アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、Alt＋Sキーを押してください。

シャットダウン画面が表示されます。

③ ［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする

アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、↑ ↓キーで［シャットダウン］を選択し、Enterキーを押してください。

プログラムを強制終了し、電源が切れます。

④ パソコンの電源を入れる

98

① Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押す

［プログラムの強制終了］画面が表示されます。

② ［シャットダウン］ボタンをクリックする

アキュポイントⅡやマウスで操作できない場合は、Alt＋Sキーを押してください。

プログラムを強制終了し、電源が切れます。

③ パソコンの電源を入れる

自動的にスキャンディスクが実行されることがあります。

A ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。

不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。

Q 「Password＝」と表示される

A パスワードが設定されている

設定したパスワードを入力し、Enter キーを押してください。
パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。
キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。
またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

☞ パスワード、キーフロッピーディスク
➪「4章 4 パスワードセキュリティ」

「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

大文字ロック状態でパスワードを入力した

Shift + Caps Lock 英数 キーを押して大文字ロック状態を解除し、もう１度入力してください。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された

休止状態が無効になった

電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N] ?」と表示された

休止状態が無効になった

電源を切る前の状態は再現できません。Enter キーを押してください。もう１度同じメッセージが表示された場合は、 Esc キーを押してください。

使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」というメッセージが表示された

ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった

画面の指示に従い、［閉じる］ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- 「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」

フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

「Boot sequence is changed.」と表示された

システム起動の順番が変更された

指定したドライブから起動を開始します。
しばらくお待ちください。

「C:¥WINDOWS>_」や「C:¥>_」と表示された

コマンドプロンプト（XP）または MS-DOS プロンプト（2000 98）が全画面表示されている

次の方法を行ってください。

■方法 1 －コマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える

① Alt + Enter キーを押す

■方法 2 －コマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプト画面を終了する

① E X I T とキーを押す
② Enter キーを押す

「KBC ERROR」と表示された

PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている

パソコン本体の電源を切り、PS/2 マウス、および PS/2 キーボードを取りはずしてからもう 1 度起動させてください。
それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

「Bad　××××　××××」と表示された

セットアッププログラムを標準設定の状態にする

次の手順で行ってください。

① F1 キーを押す
　セットアッププログラムの画面が表示されます。
　☞ セットアッププログラムの画面
　　➪「4 章 3-3 セットアッププログラムの画面」
② Home キーを押す
③ End キーを押す
　確認のメッセージが表示されます。
④ Y キーを押す
　標準設定の状態にし、セットアッププログラムが終了します。
　パソコンは再起動されます。

「WARNING：×××××」と表示された

Enter キーを何回か押してください。

上記以外のメッセージが表示される

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

異常や故障の場合

異常な臭いや過熱に気づいた！

パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから販売店または保守サービスにご連絡ください。
なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。
・使用している機器の名称
・ご購入年月日
・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

操作できない原因がどうしてもわからない

東芝PCダイヤルにご連絡ください。
ご連絡の際には次のことをお知らせください。
・使用している機器の名称
・ご購入年月日
・現在の状態

東芝PCサポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝PCサポートのご案内』をご覧ください。

付録

1 オンラインマニュアルについて

Windowsが起動しているときに、取扱説明書（本書）をパソコン画面上で見ることができます。
Windows 2000モデル、Windows 98モデルの場合は「Adobe Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」それぞれのインストールが必要です。

①「Application CD-ROM」（2000）、「アプリケーション＆ドライバCD-ROM」（98）をセットする
　CD-ROMは複数枚入っている場合があります。
②表示されるメッセージに従ってインストールを行う
　［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［開く］ボタンをクリック、または［このプログラムを上記の場所から実行する］を選択し［OK］ボタンをクリックしてください。

起動方法

1 デスクトップの［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックする

また、次の方法でも起動できます。

XP

［スタート］-［すべてのプログラム］-［オンラインマニュアル］をクリック
または
［スタート］-［ヘルプとサポート］をクリック-［オンラインマニュアル］をクリック-［オンラインマニュアル］をクリック

2000 98

［スタート］-［オンラインマニュアル］をクリック

「Adobe Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」が起動します。

初めて「Adobe Acrobat Reader」を起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。［同意する］ボタンをクリックしないと、「Adobe Acrobat Reader」をご使用になれません。また、「オンラインマニュアル」を見ることはできません。

2 製品仕様

基本仕様

機　種		DynaBook Satellite1800シリーズ
プロセッサ	CPU＊1	「PC診断ツール」を参照
メモリ	ROM	512KB（フラッシュROM）、 ACPI 1.0b、APM 1.2、Plug and Play 1.0a
	RAM＊1	「PC診断ツール」を参照（最大512MB）
	ビデオRAM	16MB（メインメモリと共用）
表示機能	表示装置＊1	冷陰極管サイドライト方式 15型TFT／14.1型TFT／13.3型TFT
	グラフィック表示	横1024×縦768　1画面
入力装置	キーボード	OADG109Aキータイプ準拠 90キー（文字キー、制御キーの合計）
	ポインティングデバイス	アキュポイントⅡ、コントロールボタン、スクロールボタン内蔵
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	1台内蔵 2DD、または2HD型フロッピーディスクを使用 720KB（2DD）／1.2MB、1.44MB（2HD）
	ハードディスクドライブ＊2	2.5型 1台装備
	ドライブ＊1	CD-ROMドライブ 1台内蔵、最大24倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
		CD-R/RWドライブ 1台内蔵 CD　：最大24倍速 CD-R　：最大8倍速 CD-RW（マルチスピード）　：最大4倍速 High-Speed対応CD-RW　：最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
		マルチドライブ 1台内蔵 CD　：最大24倍速 DVD、CD-R　：最大8倍速 CD-RW（マルチスピード）　：最大4倍速 High-Speed対応CD-RW　：最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション

＊1　ご購入のモデルによって異なります。
＊2　ハードディスク容量は、ハードディスクドライブのプロパティで確認できます。プロパティを表示するには、［マイコンピュータ］からハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］をクリックします。

付録

機　種		DynaBook Satellite1800シリーズ
インタフェース	RS-232C	1個装備 非同期115.2kbpsまで対応（ハードウェア仕様）
	プリンタ	1個装備（ECP）
	PS/2	1個装備
	RGB	1個装備
	USB	2個装備
	PCカード	2個装備　PC Card Standard準拠 （TYPE Ⅱ×2、またはTYPE Ⅲ×1）　CardBus対応
	LAN	1個装備　100Base-TX／10Base-T
	無線LAN*3	1個装備　IEEE802.11b準拠　11Mbpsまで対応
	モデム*4	1個装備
	サウンド	マイク入力 　1個装備（φ3.5mmモノラルミニジャック） ヘッドホン出力 　1個装備（φ3.5mmステレオミニジャック） 内蔵スピーカ（ステレオ）装備
	ビデオ出力	1個装備（RC Aピンジャック）
	赤外線通信機能	1ポート装備　IrDA 1.1準拠
カレンダ機能		日付、時計機能を標準装備 充電型電池によるバックアップ
電源	ACアダプタ	AC100V～240V（50Hz、または60Hz）ACアダプタ
	バッテリ	バッテリパック　Li-Ion 10.8V　4500mAh
最大消費電力		約60W
使用環境条件		温度：5℃～35℃　湿度：20%～80%Rh
外形寸法（突起部除く）		327（幅）× 274（奥行）× 41.4（高さ）mm（15型） 313（幅）× 274（奥行）× 39.5（高さ）mm（14.1型／13.3型）
質量		約3.4kg（15型） 約3.2kg（14.1型／13.3型）

＊3　無線 LAN モデルのみ
＊4　モデム内蔵モデルのみ

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

AC アダプタの仕様は次のとおりです。

　入力：AC100V ～ 240V（0.75A ～ 0.35A）　50/60Hz
　出力：DC15V、4A

また、消費電力の仕様は次のとおりです。

　最大消費電力：60W（電源スイッチオン時）
　最小消費電力：約 11.5W（電源スイッチオン時）
　　　　　　　　約 2.5W（電源スイッチオフ時）

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。
本機器は、「機器のリサイクルに適した設計」となっています。

PC 診断ツール

「PC 診断ツール」で本製品の CPU、OS、ディスプレイなどに関する情報を確認することができます。

起動方法

1 XP

［スタート］-［すべてのプログラム］-［東芝ユーティリティ］-［PC 診断ツール］をクリックする

2000 98

［スタート］-［プログラム］-［東芝ユーティリティ］-［PC 診断ツール］をクリックする

PC 診断ツールが起動します。

2 ［基本情報の表示］ボタンをクリックする

本製品の基本情報が表示されます。

PC 診断ツールについて、詳しくは PC 診断ツールのヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動方法

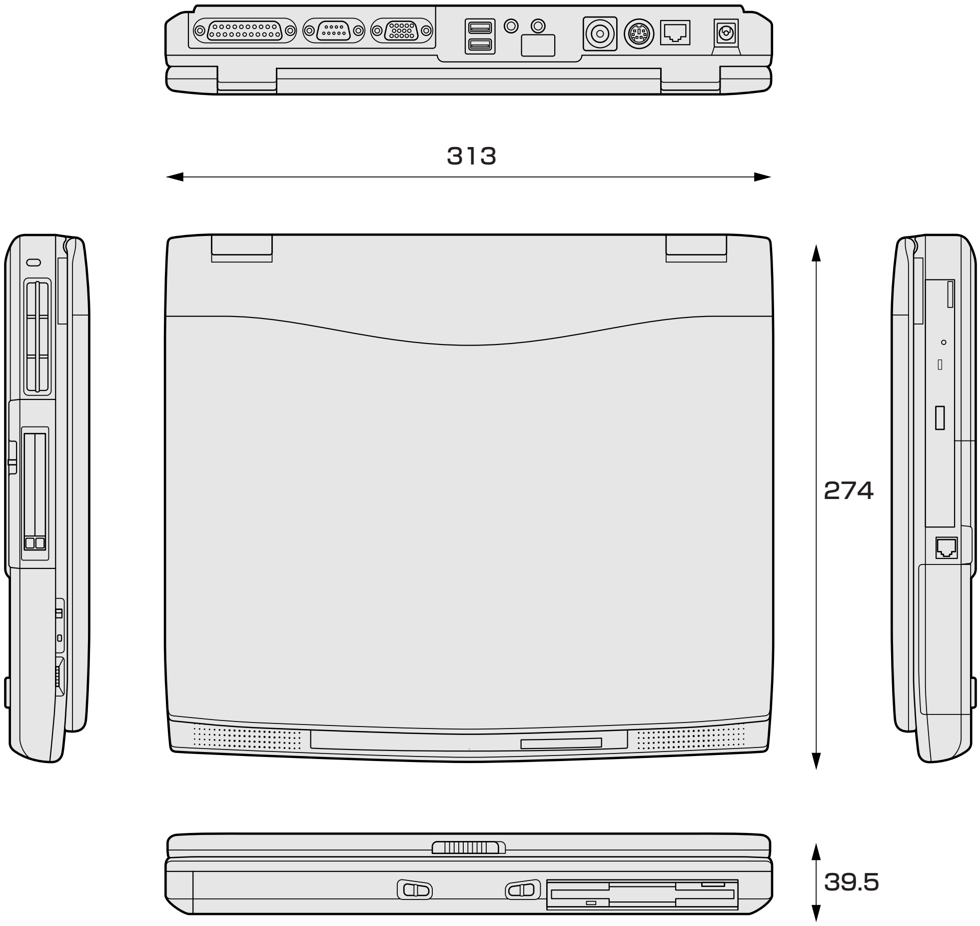
1 PC 診断ツールを起動する

2 ［ヘルプ］ボタンをクリックする

外形寸法図

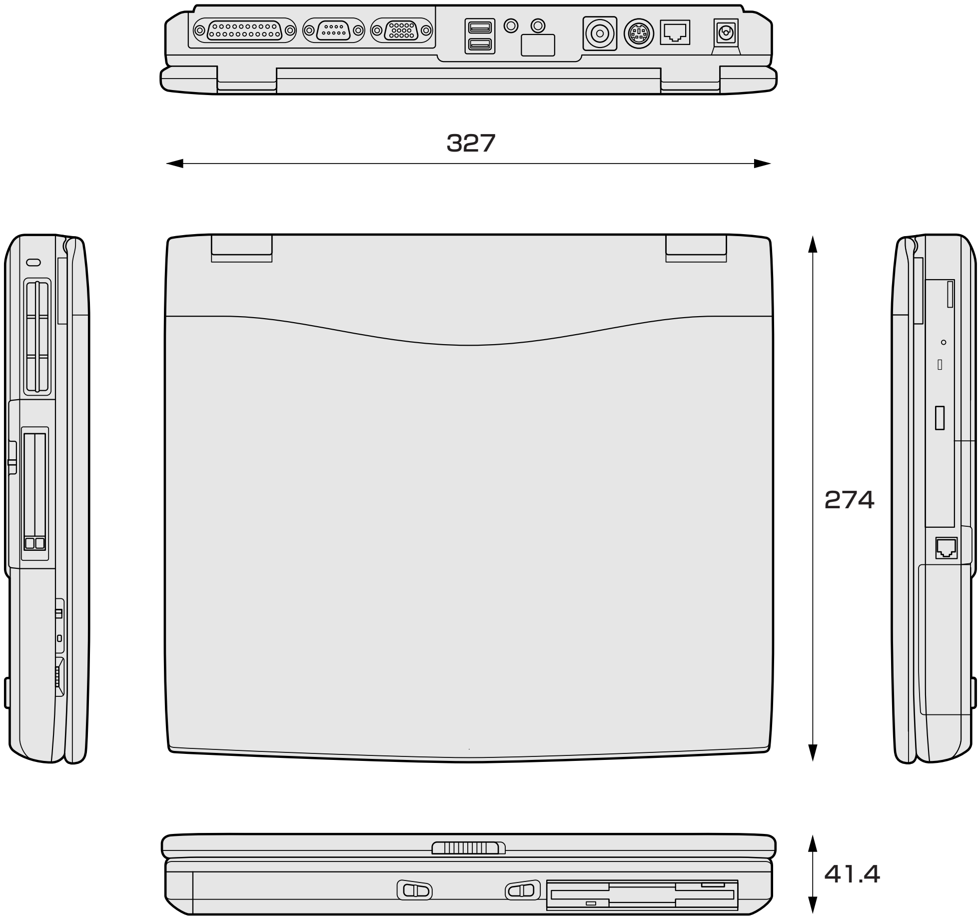
13インチ／14インチモデル

＊イラストは14インチモデルです。



（突起部を含まず）
（単位 mm）

15インチモデル



（単位 mm）

サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。
本製品でサポートしている英語モード時のすべてのビデオモードを次に示します。
モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。
アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
0,1	VGAテキスト	40×25字	8×8	16/256K	70
2,3	VGAテキスト	80×25字	8×8	16/256K	70
0*,1*	VGAテキスト	40×25字	8×14	16/256K	70
2*,3*	VGAテキスト	80×25字	8×14	16/256K	70
0+,1+	VGAテキスト	40×25字	8(9)×16	16/256K	70
2+,3+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	16/256K	70
4,5	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	4/256K	70
6	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	2/256K	70
7	VGAテキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ	70
7+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	モノクロ	70
D	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	16/256K	70
E	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	16/256K	70
F	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	モノクロ	70
10	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	16/256K	70
11	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	2/256K	60

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
12	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	16/256K	60
13	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	256/256K	70
―	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	―	256/256K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	―	256/256K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	―	256/256K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット*1	―	256/256K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット*1	―	256/256K	60
―	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	―	64K/64K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	―	64K/64K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	―	64K/64K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット*1	―	64K/64K	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット*1	―	64K/64K	60
―	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	―	16M/16M	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	―	16M/16M	60/75/85
―	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	―	16M/16M	60/75

＊1：LCDの場合は実際の画面（1024×768）内に、仮想スクリーン表示します。

本製品のディスプレイは、640×480ドットのモードを選択しても、1024×768ドットのタイミングで動作しています。そのため、VGA専用のCRTディスプレイとの同時表示はできません。同時表示をする場合は、SVGAのCRTディスプレイを使用してください。

付録

ハードウェアリソース

メモリマップ、I/O ポートマップ、IRQ 使用リソース、DMA チャネルは次の方法で確認できます。
ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

Windows XP の場合

1 ［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［システム情報］をクリックする

2 画面左側のツリーから［ハードウェアリソース］をクリックする

3 調べたい項目をクリックする

メモリマップ　　：［メモリ］
I/O ポートマップ　：［I/O］
IRQ 使用リソース　：［IRQ］
DMA チャネル　　：［DMA］

Windows 2000 の場合

1 ［マイコンピュータ］を右クリックして［管理］をクリックする

2 画面左側のツリーから［システム情報］-［ハードウェアリソース］をダブルクリックする

3 調べたい項目をクリックする

メモリマップ　　：［メモリ］
I/O ポートマップ　：［I/O］
IRQ 使用リソース　：［IRQ］
DMA チャネル　　：［DMA］

Windows 98 の場合

1 ［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［システム情報］をクリックする

2 画面左側のツリーから［ハードウェアリソース］をダブルクリックする

3 調べたい項目をクリックする

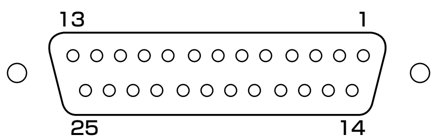
メモリマップ　　：［メモリ］
I/O ポートマップ　：［I/O］
IRQ 使用リソース　：［IRQ］
DMA チャネル　　：［DMA］

③ 各インタフェースの仕様

PRT インタフェース

ピン番号	信号名	意　味	信号方向
1	-STROBE	PD0～7のデータを書き込むための同期出力信号	O
2	PD0	PD0のデータを送信する信号	I/O
3	PD1	PD1のデータを送信する信号	I/O
4	PD2	PD2のデータを送信する信号	I/O
5	PD3	PD3のデータを送信する信号	I/O
6	PD4	PD4のデータを送信する信号	I/O
7	PD5	PD5のデータを送信する信号	I/O
8	PD6	PD6のデータを送信する信号	I/O
9	PD7	PD7のデータを送信する信号	I/O
10	-ACK	-STROBEに対するデータ受信完了信号	I
11	BUSY	データ受信できるかどうかを示すステータス信号	I
12	PE	用紙切れを知らせるステータス信号	I
13	SELCT	セレクト／ディセレクト状態を示すステータス信号	I
14	-AUTFD	自動用紙送り機構用信号	O
15	-ERROR	アラーム状態を示すステータス信号	I
16	-PINT	初期状態に戻す信号	O
17	-SLIN	未使用	O
18	GND	信号グランド	
19	GND	信号グランド	
20	GND	信号グランド	
21	GND	信号グランド	
22	GND	信号グランド	
23	GND	信号グランド	
24	GND	信号グランド	
25	GND	信号グランド	

コネクタ図



D-SUB 25ピンメス

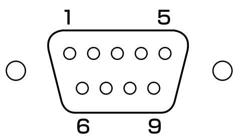
信号名　　　　：－がついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

付録

COMMS インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

コネクタ図



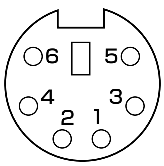
D-SUB 9ピンオス

信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

PS/2 インタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	MOUSDT	マウスデータ	I/O
2	EXTKBDT	キーボードデータ	
3	GND	グランド	
4	VCC	5V	
5	MOUSCK	マウスクロック	I/O
6	EXTKBCK	キーボードクロック	I/O

コネクタ図



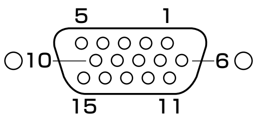
ミニDIN 6ピンメス

信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

RGBインタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	
13	-CHSYNC	水平同期信号	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号	O
15	SCL	SCLデータクロック信号	

コネクタ図



高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名　　　　：ーがついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

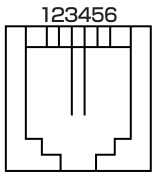
付録

モデムインタフェース

＊モデム内蔵モデルのみ

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	-	ノーコンタクト	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	-	ノーコンタクト	
6	-	ノーコンタクト	

コネクタ図

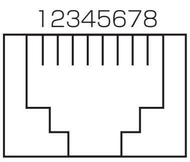


信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

LANインタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	TX	送信データ（+）	O
2	-TX	送信データ（—）	O
3	RX	受信データ（+）	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ（—）	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図

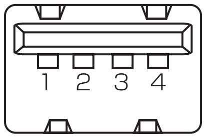


信号名　　　　：ーがついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）　：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

USBインタフェース

ピン番号	信 号 名	意　味	信号方向
1	VCC	+5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	

コネクタ図



信号名　　　　：ーがついているのは、負論理の信号です。
信号方向（I）：パソコン本体への入力
信号方向（O）：パソコン本体からの出力

4 技術基準適合について

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

※対象OSはWindows 98、Windows 2000、Windows XP Pro

☞ 省電力設定について ➪「3章 4-5 東芝省電力ユーティリティ」

FCC information

Product name : DynaBook Satellite 1800 series
Model number : PS183

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ❑ Reorient or relocate the receiving antenna.
- ❑ Increase the separation between the equipment and receiver.
- ❑ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ❑ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer’s or external monitor port, PS/2 mouse/ keyboard port, parallel port, USB port, video-out port, microphone jack and headphone port, serial port. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user’s authority to operate the equipment.

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address: TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697
Telephone: (949) 583-3000

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity

TOSHIBA declares, that the product: PS183* conforms to the following Standards:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC the EMC Directive 89/336/EEC and/or the R&TTE Diretctive 1999/05/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

モデム使用時の注意事項

＊モデム内蔵モデルのみ

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。	認定番号 A00-0940JP

●使用できない地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルク、レバノン、ロシア

（2002年1月現在）

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承願います。

●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

＊内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。

お願い

・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。

・内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる地域にあわせてモデムの地域設定が必要です。

☞「3章 9- 電話回線への接続」

Conformity Statement

The equipment has been approved to [Commission Decision “CTR21”] for pan-European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).
However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.
In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

Network Compatibility Statement

This product is designed to work with, and is compatible with the following networks. It has been tested to and found to confirm with the additional requirements conditional in EG 201 121.

Germany	- ATAAB AN005,AN006,AN007,AN009,AN010 and DE03,04,05,08,09,12,14,17
Greece	- ATAAB AN005,AN006 and GR01,02,03,04
Portugal	- ATAAB AN001,005,006,007,011 and P03,04,08,10
Spain	- ATAAB AN005,007,012, and ES01
Switzerland	- ATAAB AN002
All other countries regions	- ATAAB AN003,004

Specific switch settings or software setup are required for each network, please refer to the relevant sections of the user guide for more details.
The hookflash (timed break register recall) function is subject to separate national type approvals. If has not been tested for conformity to national type regulations, and no guarantee of successful operation of that specific function on specific national networks can be given.

Pursuant to FCC CFR 47, Part 68:

When you are ready to install or use the modem, call your local telephone company and give them the following information:

- The telephone number of the line to which you will connect the modem
- The registration number that is located on the device

The FCC registration number of the modem will be found on either the device which is to be installed, or, if already installed, on the bottom of the computer outside of the main system label.

- The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.
  For the REN of your modem, refer to your modem’s label.

The modem connects to the telephone line by means of a standard jack called the USOC RJ11C.

Type of service

Your modem is designed to be used on standard-device telephone lines.
Connection to telephone company-provided coin service (central office implemented systems) is prohibited. Connection to party lines service is subject to state tariffs. If you have any questions about your telephone line, such as how many pieces of equipment you can connect to it, the telephone company will provide this information upon request.

Telephone company procedures

The goal of the telephone company is to provide you with the best service it can.
In order to do this, it may occasionally be necessary for them to make changes in their equipment, operations, or procedures. If these changes might affect your service or the operation of your equipment, the telephone company will give you notice in writing to allow you to make any changes necessary to maintain uninterrupted service.

If problems arise

If any of your telephone equipment is not operating properly, you should immediately remove it from your telephone line, as it may cause harm to the telephone network. If the telephone company notes a problem, they may temporarily discontinue service. When practical, they will notify you in advance of this disconnection. If advance notice is not feasible, you will be notified as soon as possible. When you are notified, you will be given the opportunity to correct the problem and informed of your right to file a complaint with the FCC.
In the event repairs are ever needed on your modem, they should be performed by TOSHIBA Corporation or an authorized representative of TOSHIBA Corporation.

Disconnection

If you should ever decide to permanently disconnect your modem from its present line, please call the telephone company and let them know of this change.

Fax branding

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity or individual.
In order to program this information into your fax modem, you should complete the setup of your fax software before sending messages.

Instructions for IC CS-03 certified equipment

1. NOTICE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.
   Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection.

   The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.
   Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.
   Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.
   Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

2. The user manual of analog equipment must contain the equipment's Ringer Equivalence Number (REN) and an explanation notice similar to the following:

   The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary. For the REN of your modem, refer to your modem's label.

   NOTICE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

3. The standard connecting arrangement (telephone jack type) for this equipment is jack type(s): USOC RJ11C.

   CANADA: 1353 11026A

Notes for Users in Australia and New Zealand

Modem warning notice for Australia

Modems connected to the Australian telecoms network must have a valid Austel permit. This modem has been designed to specifically configure to ensure compliance with Austel standards when the region selection is set to Australia.
The use of other region setting while the modem is attached to the Australian PSTN would result in you modem being operated in a non-compliant manner.
To verify that the region is correctly set, enter the command ATI which displays the currently active setting.

To set the region permanently to Australia, enter the following command sequence:

AT%TE=1
ATS133=1
AT&F
AT&W
AT%TE=0
ATZ

Failure to set the modem to the Australia region setting as shown above will result in the modem being operated in a non-compliant manner. Consequently, there would be no permit in force for this equipment and the Telecoms Act 1991 prescribes a penalty of $12,000 for the connection of non-permitted equipment.

Notes for use of this device in New Zealand

- The grant of a Telepermit for a device in no way indicates Telecom acceptance of responsibility for the correct operation of that device under all operating conditions. In particular the higher speeds at which this modem is capable of operating depend on a specific network implementation which is only one of many ways of delivering high quality voice telephony to customers. Failure to operate should not be reported as a fault to Telecom.

- In addition to satisfactory line conditions a modem can only work properly if:
  a/ it is compatible with the modem at the other end of the call and
  b/ the application using the modem is compatible with the application at the other end of the call - e.g., accessing the Internet requires suitable software in addition to a modem.

- This equipment shall not be used in any manner which could constitute a nuisance to other Telecom customers.

- Some parameters required for compliance with Telecom's PTC
  Specifications are dependent on the equipment (PC) associated with this modem. The associated equipment shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom Specifications:

  a/ There shall be no more than 10 call attempts to the same number within any 30 minute period for any single manual call initiation, and

  b/ The equipment shall go on-hook for a period of not less than 30 seconds between the end of one attempt and the beginning of the next.

  c/ Automatic calls to different numbers shall be not less than 5 seconds apart.

- Immediately disconnect this equipment should it become physically damaged, and arrange for its disposal or repair.

- The correct settings for use with this modem in New Zealand are as follows:

  ATB0 (CCITT operation)
  AT&G2 (1800 Hz guard tone)
  AT&P1 (Decadic dialing make-break ratio =33%/67%)
  ATS0=0 (not auto answer)
  ATS10=less than 150 (loss of carrier to hangup delay, factory default o f 15 recommended)
  ATS11=90 (DTMF dialing on/off duration=90 ms)
  ATX2 (Dial tone detect, but not (U.S.A.) call progress detect)

- When used in the Auto Answer mode, the S0 register must be set with a value 3 or 4. This ensures:

(a) a person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network.

(b) caller identification information (which occurs between the first and second ring cadences) is not destroyed.

- The preferred method of dialing is to use DTMF tones (ATDT...) as this is faster and more reliable than pulse (decadic) dialing. If for some reason you must use decadic dialing, your communications program must be set up to record numbers using the following translation table as this modem does not implement the New Zealand "Reverse Dialing" standard.

  Number to be dialed: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

  Number to program into computer: 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

  Note that where DTMF dialing is used, the numbers should be entered normally.

- The transmit level from this device is set at a fixed level and because of this there may be circumstances where the performance is less than optimal.
  Before reporting such occurrences as faults, please check the line with a standard Telepermitted telephone, and only report a fault if the phone performance is impaired.

- It is recommended that this equipment be disconnected from the Telecom line during electrical storms.

- When relocating the equipment, always disconnect the Telecom line connection before the power connection, and reconnect the power first.

- This equipment may not be compatible with Telecom Distinctive Alert cadences and services such as FaxAbility.

NOTE THAT FAULT CALLOUTS CAUSED BY ANY OF THE ABOVE CAUSES MAY INCUR A CHARGE FROM TELECOM

General conditions

As required by PTC 100, please ensure that this office is advised of any changes to the specifications of these products which might affect compliance with the relevant PTC Specifications.

The grant of this Telepermit is specific to the above products with the marketing description as stated on the Telepermit label artwork. The Telepermit may not be assigned to other parties or other products without Telecom approval.

A Telepermit artwork for each device is included from which you may prepare any number of Telepermit labels subject to the general instructions on format, size and colour on the attached sheet.

The Telepermit label must be displayed on the product at all times as proof to purchasers and service personnel that the product is able to be legitimately connected to the Telecom network.

The Telepermit label may also be shown on the packaging of the product and in the sales literature, as required in PTC 100.

The charge for a Telepermit assessment is $337.50. An additional charge of $337.50 is payable where an assessment is based on reports against non-Telecom New Zealand Specifications. $112.50 is charged for each variation when submitted at the same time as the original.

An invoice for $NZ1237.50 will be sent under separate cover.

東芝 CD-ROM ドライブ XM-7002B

安全にお使いいただくために

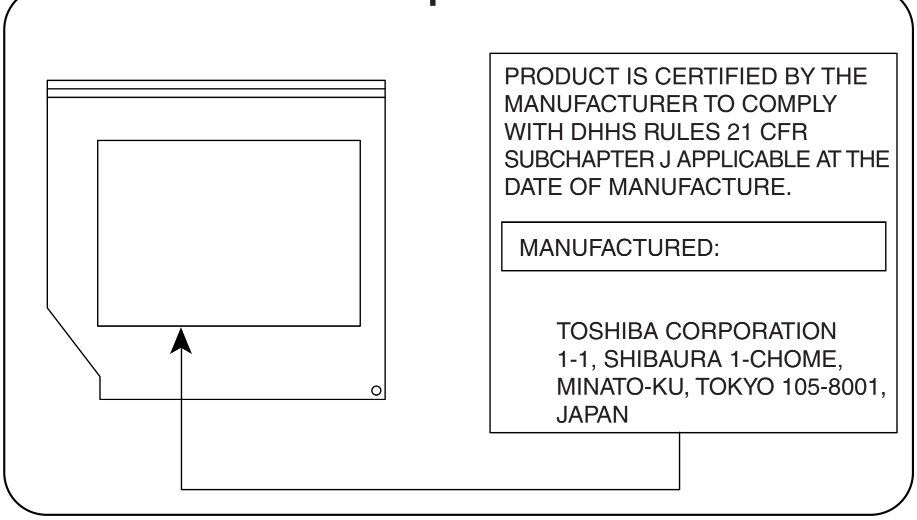
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 PRODUKT
TO EN 60825-1
クラス 1 レーザー製品

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Location of the required label



TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

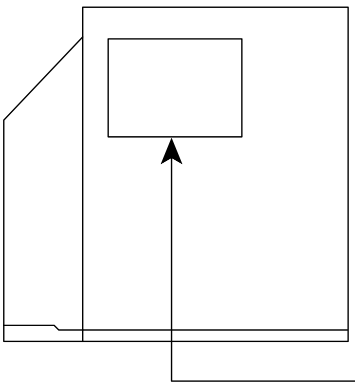
⚠ 注意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS
VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN AUCH NICHT MIT OPTISCHEN INSTRUMENTEN
VARNING - OSYNL IG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD STIRRA EJ IN I STRÅLEN OCH BETRAKTA EJ STRÅLEN MED OPTISKA INSTRUMENT

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Location of the required label



CERTIFICATION: THIS PRODUCT COMPLIES WITH DHHS RULES 21 CFR CHAPTER 1, SUBCHAPTER JAPPLICABLE AT DATE OF MANUFACTURE.

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

TEAC CORPORATION
3-7-3, NAKA-CHO,
MUSASHINO-SHI,
TOKYO, JAPAN

付録

松下 CD-R/RW ドライブ UJDA340

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

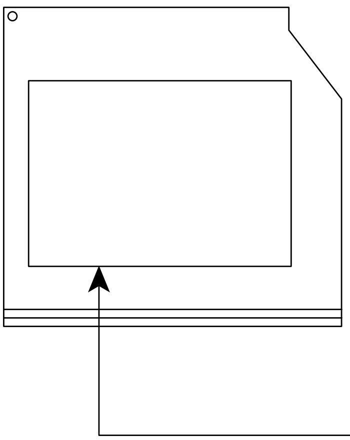
1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

   CLASS 1 LASER PRODUCT
   LASER KLASSE 1

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM. JDGS0150ZA
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

Location of the required label



MANUFACTURED:
SERIAL NO.

COMPLIES WITH FDA RADIATION PERFORMANCE STANDARDS, 21 CFR SUBCHAPTER J. 130KMT
Manufactured by Kyusyu Matsushita Electric Co., Ltd.
1-62, 4-Chome Minoshima Hakata-Ku
Fukuoka, Japan

TEAC CD-R/RW ドライブ CD-W28E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

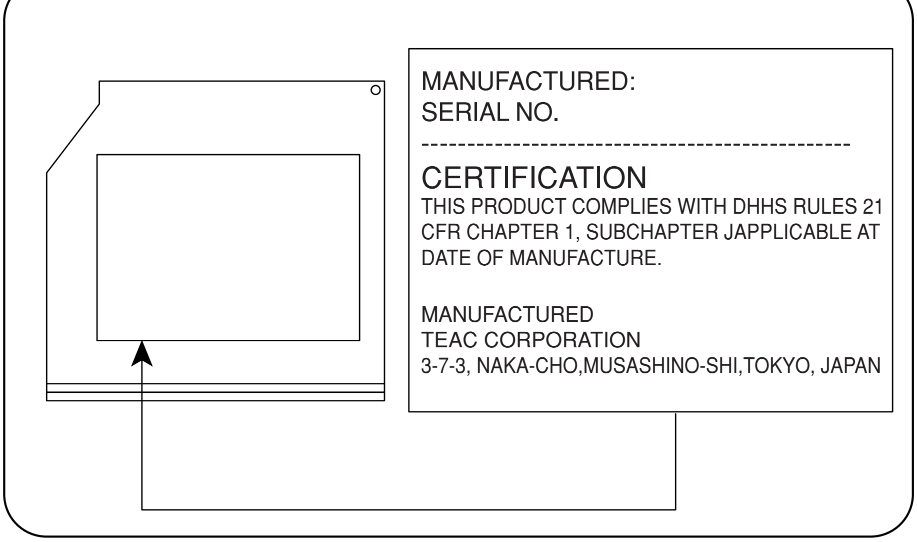
1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

Location of the required label



東芝 CD-R/RW ／ DVD-ROM ドライブ SD-R2102
（マルチドライブ）

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

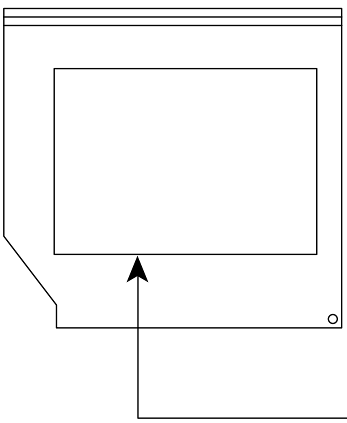
CLASS 1 LASER PRODUCT
APPAREIL À LASER DE CLASSE 1
LASER KLASSE 1 PRODUKT
TO EN 60825-1
クラス１レーザー製品

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス１レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

DANGER
VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION
RAYONNEMENT VISIBLE ET INVISIBLE LASER EN CAS D'OUVERTURE EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT
SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZAN.
注　意
ここを開くと可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり触れたりしないこと。

ADVARSEL
SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING.
UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL
SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES.
UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARO!
NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING
SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÅR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.

Location of the required label



PRODUCT IS CERTIFIED BY THE MANUFACTURER TO COMPLY WITH DHHS RULES 21 CFR SUBCHAPTER J APPLICABLE AT THE DATE OF MANUFACTURE.

MANUFACTURED:

TOSHIBA CORPORATION
1-1, SHIBAURA 1-CHOME,
MINATO-KU, TOKYO 105-8001,
JAPAN

松下 CD-R/RW ／ DVD-ROM ドライブ UJDA720
（マルチドライブ）

安全にお使いいただくために

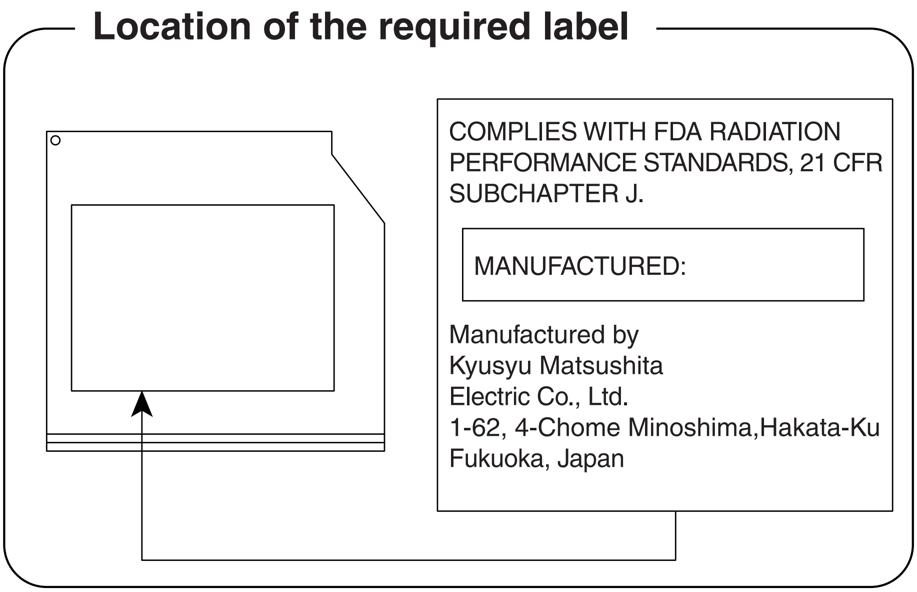
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	SiCHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO !	NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.



付録

5 アプリケーションお問い合わせ先一覧

本製品にインストールされているアプリケーションのお問い合わせ先をご紹介します（2002 年 1 月現在）。

インストールされているアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

<table>
<tr><th>アプリケーション名</th><th>お問い合わせ先</th></tr>
<tr><td>Microsoft®Internet Explorer
Microsoft®Outlook®Express
PC診断ツール
東芝省電力ユーティリティ
東芝HWセットアップ
内蔵モデム用地域選択ユーティリティ</td><td>東芝PCダイヤル
ナビダイヤル
TEL　　：0570-00-3100
受付時間：9:00〜19:00
（祝日、12／31〜1／3を除く）
電話番号はおまちがえのないよう、お確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780でお受けしています。
ご注意
・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。
・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。</td></tr>
</table>

アプリケーション名	お問い合わせ先
Microsoft®Bookshelf®Basic Microsoft®Excel 2002 Microsoft®Outlook®2002 Microsoft®Word 2002 Microsoft®PowerPoint®2002 Microsoft®Access 2002	マイクロソフト株式会社　お問い合わせ各種窓口 ●無償サポート専用回線 ・セットアップ、インストールに関するお問い合わせ TEL　：東京：03-5354-4500 大阪：06-6347-4400 受付時間：9:30〜12:00、13:00〜19:00（平日） 10:00〜17:00（土曜日） （指定休業日、年末年始、祝祭日を除く） 期間、回数：指定はございません。 ・基本操作に関するお問い合わせ TEL　：東京：03-5354-4500 大阪：06-6347-4400 受付時間：9:30〜12:00、13:00〜19:00（平日） 10:00〜17:00（土曜日） （指定休業日、年末年始、祝祭日、日曜日を除く） 期間　：指定はございません。 回数　：4件のご質問 ・早急に回答が必要な場合 サポートオンライン http://www.microsoft.com/japan/support/ サポートオンラインではよく寄せられる質問の回答集を検索することができます。 ・情報交換しながら問題解決する ニュースグループ http://www.microsoft.com/japan/support/oj_newsg.htm ニュースグループではマイクロソフト製品に関して他の方や技術的な知識を持った方とコミュニケーションすることができます。製品情報やヒント、テクニックの交換の場としてご活用ください。 ※ニュースグループに参加する際は、上記URL内にある「サービスの範囲とルール」を必ずご覧ください。ニュースを閲覧／投稿する際には、Outlook Expressなどのニュースリーダーが必要です。 ●非技術的なお問い合わせ窓口 （マニュアルの乱丁・落丁、ディスク不良、欠品およびオフィシャルユーザー登録／変更などやご購入前の製品／これから発売される製品に関するお問い合わせ） マイクロソフトカスタマーインフォメーションセンター TEL　：03-5454-2300（技術サポート以外） 受付時間：9:30〜12:00、13:00〜17:30 （当センター休業日・土・日・祝祭日を除く） ※ご購入前の製品やこれから発売される製品に関するお問い合わせは、お電話でのみ受け付けています。 上記以外に聴覚・言語に障害があるかたのための窓口もご用意させていただいております。
いきなりインターネット	東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口 TEL　：044-201-0450 受付時間　：10:00〜12:00、13:00〜17:00 （土・日・祝祭日、当社休業日を除く） FAX　：044-246-1131 FAX音声情報サービス ：044-201-0449（24時間受付） E-mail　：support@staff.pep.ne.jp ホームページ：http://www.pep.ne.jp/

さくいん

モ

ヤ

ユ

ラ

リ

ロ

ワ